

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会のご案内

第573回北九州地区小児科医会例会 (WEB開催)

日時：2021年12月16日 (木) 19:00～20:00

講演：「インフルエンザの最新情報:再びの流行に備えて」

演者：株式会社リチェルカクリニカ 代表取締役
日本臨床内科医会 インフルエンザ研究班
リサーチディレクター 池松 秀之 先生

※事前登録の申し込みが必要です。

担当:塩野義製薬(株)松井 瞭汰

QRコードもしくはryota.matsui@shionogi.co.jpの担当者あてにメールでご連絡ください。(締切2021年12月15日(金))



第58回北九州地区小児科医会定期総会

日時：2022年1月16日 (日) 13:30～

場所：リーガロイヤルホテル小倉3階クリスタルルーム

特別講演：ICTと医療・健康・生活情報を活用した
次世代型子ども医療システム

演者：福岡大学小児科学教室 主任教授 永光信一郎 先生

※小児科専門医更新単位の申請を行っております。

(iii小児科領域講習 2109-B-019)

その他講演会などのご案内

令和2年度 北九州市小児保健研究会講演会

日時：令和4年1月19日 (水) 19時～

会場：ウェルとばた大ホール (戸畑区汐井町1番6号)

演者：小倉医療センター 小児科部長 渡辺 恭子 先生

演題：低ホスタファーゼ症をはじめとして、
たまに見られる気を付けたい病気について

産業医科大学カンファランス・セミナー

1月のセミナーは大分大学小児科の井原 健二 教授をお迎えいたします。大変興味深い内容となっておりますので、多くの先生方のご参加をお待ちいたしております。

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：12月13日 (月) 19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題1：神奈川県立こども医療センターNICUに

国内留学をして～早産児の循環管理を中心に～

演者：産業医科大学小児科 渡邊 俊介 先生

演題2：福岡市立こども病院での研修報告

～いろいろな科をみて回って学んで来て～

演者：産業医科大学小児科 重田 英臣 先生

※ 12月の産業医科大学小児科セミナーはお休みです。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：1月17日 (月) 19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：こどものリウマチ ～関節型若年性特発性関節炎～

演者：産業医科大学小児科 伊藤 琢磨 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：1月20日 (木) 18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：新生児の飢餓に関わる最近の知見

：タンデムマスからオートファジーまで

演者：大分大学小児科教授 井原 健二 先生

保険診療メモ (202111)

医科点数表の解釈に適応・施行間隔が明示されている検査

療養担当規則第20条第一号診察のホに、「各種検査は診療上必要がある場合に行う」と記載されています。必ず症状や検査の目的を検討し、その結果を判断して診療計画に反映させるという一連の流れを診療録に記載し、必要最小限の回数で実施することも重要です。

医科点数表の解釈（青本）に対象疾患や検査間隔が明示され、審査の場において査定が多い主な検査について記載します。

①シスタチンC；118点

尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できます。腎機能の低下を示す傷病名が必須です。クレアチニンはクレアチニンクリアランスが30~40ml/分程度まで低下しないと明らかに上昇せず、腎機能低下の判断が困難なブラインド領域（0.8~2.0mg/dlくらい）があります。一方、シスタチンCはブラインド領域がなく、軽微な腎機能低下を検出できます。

②25-ヒドロキシビタミンD；117点

体内のビタミンD充足状態の評価には安定な代謝産物として血中に存在する25-ヒドロキシビタミンDが用いられます。治療前の本検査値が低いほど、以降5年間の骨折発生率が優位に高いという結果もあり、原発性骨粗鬆症の患者を中心に測定されます。

ア、原発性骨粗鬆症の患者に対しては、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定できると規定されています。

イ、ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の治療中に測定した場合は、診断時においては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定可能です。

本検査には骨代謝異常症の傷病名（疑いを含む）が必要であり、単に「ビタミンD欠乏症疑い」との傷病名での算定はできません。

③1,25-(OH)2ビタミンD（1,25-ジヒドロキシビタミンD）；338点

1,25-(OH)2ビタミンDは血中カルシウムレベルを調節するビタミンDであり、腎で活性化されます。ビタミンD欠乏症、慢性腎不全、副甲状腺機能亢進症（低下症）などにおける血中カルシウム、無機リンの代謝動態の評価や活性型ビタミンD3製剤による治療の投薬量の設定や治療効果の判定に用いられます。

医科点数表の解釈では、慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症I型、低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の診断時、またはそれらの疾患に対する活性型ビタミンD3による治療中に測定した場合に限り算定可能となっています。この治療中の場合にであっても、治療開始後1か月以内2回、その後は3月に1回という回数制限があり、レセプトの適応欄に前回の実施日を記載する必

要もあります。

単なるビタミンD欠乏症（疑いを含む）はもとより、ビタミンD欠乏性くる病、ビタミンD欠乏性骨軟化症、骨粗鬆症でも算定できませんので注意が必要です。上記②の25-ヒドロキシビタミンDと併施している例が散見されますが、ほとんどが傷病名によって一方のみに査定されることとなります。

④総カルニチン及び遊離カルニチン；それぞれ95点

ア、先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、月に1回を限度として算定できます。

イ、静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定できます。

その他にもカルニチン欠乏症をきたす病態はありますが、保険診療として認められているのは上記に明示されている疾患や病態のみですので注意が必要です。

⑤TARC；184点

アトピー性皮膚炎の病勢を鋭敏に反映し、確定例のみで、月1回を限度として算定できます。なお、非特異的IgEは長期の経過における病勢を反映するため連月の併施は査定の対象となります。非特異的IgE同士の検査間隔について、数年前の保険診療メモに記載していますが、栄養方法に変化のある2歳くらいまでは3月以上、その後は数ヶ月に1回を基準にしています。

⑥小児食物アレルギー負荷検査；1,000点（外来）

問診及び血液検査等から、食物アレルギーが強く疑われる9歳未満の小児に対し、原因抗原の特定、耐性獲得の確認のために食物負荷検査を実施した場合に、12月に2回を限度として算定できます。

上記の他にも対象疾患や検査間隔について医科点数表の解釈で規定されているものは少なくありません。事前に確認することが望まれますが、査定例については解釈を確認し、その後は同様のミスがないように心掛けてください。突合、縦覧、横覧などの点検・審査では重点的に確認される項目となっています。日常の診療において、対象疾患や前回の検査日等の再確認が重要です。

役員会報告 (12月2日：木曜日)

協議事項・報告事項

1) 第58回定期総会について

2022年1月16日(日曜)リーガロイヤルホテル小倉にて開催
予定です。今年は役員改選となります。

受付開始：13:00～

特別講演：13:30～

総会議事：14:40～

懇親会は行ないません。

日時：2022年1月16日 (日) 13:30～

場所：リーガロイヤルホテル小倉3階クリスタルルーム

特別講演：ICTと医療・健康・生活情報を活用した

次世代型子ども医療システム

演者：福岡大学小児科学教室 主任教授 永光信一郎 先生

※小児科専門医更新単位の申請を行っております。

(iii小児科領域講習 2109-B-019)

途中参加や退室は認められないことになっておりますので、
ご配慮ください。

2) 将来構想委員会が11月15日に開催され次期役員が決まりました。
次回ご報告いたします。

3) 今月の新型コロナウイルス感染症への対応について情報
交換・協議はありません。

委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継

2022年

1月 総会

2月10日 (木) 19時00分～20時30分

WEB講演

第一三共株式会社

てんかん関連

一般演題 緒方 怜奈先生 小倉医療センターてんかん専門医

特別講演 石川 暢恒先生 広島大学てんかんセンター

3月 大塚製薬調整中

4月 協和キリン株式会社調整中

その他、COVID19のため、委員会は行われておりません。